

熱きバトルが今よみがえる…

ハピスマ水鉄砲大会！

IN 仁川溪谷

動日時： A…7月19日(土)

B…7月20日(日)

活動プログラム：

午前	集合・あいさつ 移動	おはよう！みんなお待ちかねのプログラム！気合もやる気も十分にある様子！さあ、いざ出発！！
	沢登り (バトル会場へ)	ここからは川へ入るよ。そのために必要な物を選ぶよ。お弁当に水筒、水鉄砲にタオル…忘れ物はない？そしてそれをみんなで協力して運ぶよ。足元は滑りやすいし、大きな石が立ちふさがっているよ。みんなで頑張りよう！
	昼食	やっとの思いで着いたね、水鉄砲大会に向けてしっかりと腹ごしらえをしよう。
午後	水鉄砲大会 川遊び	いよいよだ！！相手グループのボイめがけて打ちまくれ！確実に狙うためには守ってばかりではだめだ！攻めにかないと！！グループごとに作戦を立てて挑みます！そして残り時間は思う存分川遊びをしたね。飛び込みにもチャレンジ！
	振り返り まったね～	沢登りに水鉄砲大会、川遊びと年に一度の水プログラムを満喫できたかな？次の活動はいよいよTOPフェス。意気込みを確認して、まったね～！



<全体感想>

今月の活動は一昨年に行われ、リクエストが最も多かったプログラム「水鉄砲大会」でした。今年はまだ水鉄砲大会を行うだけでなく、沢登りも行いました。沢登りでは、お昼の荷物をどのようにして運ぶか、各グループ苦戦していました。最初はリーダーや高学年のお友達に任せっきりでした。しかし、その荷物の中には自分の荷物も入っています。また、水深が深いところでは高学年のお友達でも一人では進むことが難しく、「これではダメだ」と思ったのが、バトル会場に着く頃には、グループ全員で荷物を抱きかかえ一步一步ゆっくりと進んでいました。この沢登りから、グループの団結力が培われていく様子が伺えました。そして、その団結力が午後からの水鉄砲大会でも大いに活かされました。全身びしょ濡れになりながら、グループ対抗戦での作戦を立てたり、陣地を守ったりと「優勝」を目指してどのグループも燃えていました。残り時間では、溪谷だからこそできる飛び込みや、足の着かない川の深いところにもチャレンジし、思う存分川遊びもすることができ年に一度の水プログラムを満喫していました。この団結力を次回のTOPフェスでも発揮して欲しいです。

(濱野 かおる)

